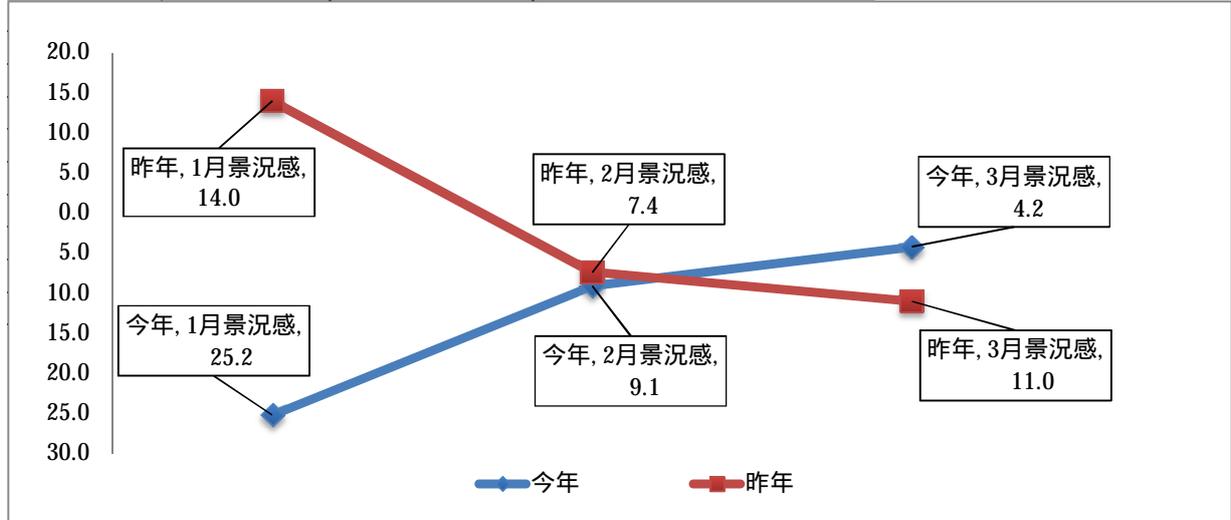


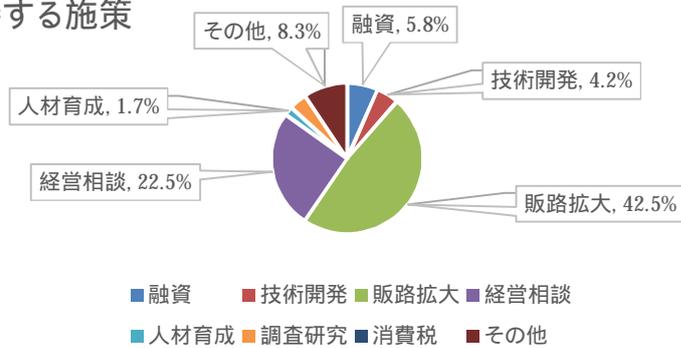
平成27年度会員景況調査(3月)

	1月景況感	2月景況感	3月景況感	2～3カ月先の景況感	H27年度アンケート回答企業数
今年	25.2	9.1	4.2	22.5	H28.3 120件
昨年	14.0	7.4	11.0	19.0	H27.4～H28.3 1,339件



期待する施策	割合 (%)
融資	5.8%
技術開発	4.2%
販路拡大	42.5%
経営相談	22.5%
人材育成	1.7%
調査研究	3.3%
消費税	0.0%
その他	8.3%

期待する施策



(会員の声)

- ・年間を通し、この時期が一番の売上が上がる時期である。(自転車販売)
- ・3・4月は売上が10%伸びる。(運送業)
- ・暖冬と燃料等相場下落に伴い燃料部門は不調。機器販売やリフォーム等で売上を維持。(ガス等燃料小売)
- ・今年は、暖冬で冬物衣料が売れず、仕事も減少している。(クリーニング業)
- ・受注量は、微増傾向である。(印刷業)
- ・昨年の水害関連の仕事がまわってきており、受注量は比較的順調である。(建設業)
- ・取引先への客入れが良好の様子。最近は休日を返上するほどの注文量がある。(食品製造)
- ・仕事の量はある反面、単価値下げ要求が増えている。(内装・リフォーム業)
- ・年度末は繁忙期になるが、利益率は低い。(舗装工事業)
- ・1,000円を超えるメニュー(ランチ時)の注文が増加。「食」にお金を使うようになった。(飲食店)
- ・趣味にお金をかける人が一時期より多くなったように感じる。(電気工事業)
- ・人材確保のため、時給単価をあげざるを得ないため資金繰りはやや厳しい。(老人福祉事業)
- ・人材確保のための賃金の上昇、同業者間の人材の取り合いがある。業界全体で離職率が高い。(老人福祉事業)
- ・就労条件改善、賃金アップに努めているが、業種的に敬遠されてしまい新規採用が厳しい。(再生資源卸売業)
- ・若い人材が欲しい。(建具製造業)
- ・繁忙期は、アルバイトや外注で対応している。(建設業)
- ・受注単価の引き下げ要求があり、コストカット・生産性の見直しを行っている。(治具等部品製造)
- ・後継者(事業を引き継いでくれる人)が見つからない。(食品加工)
- ・金属の値段が下がっている。(再生資源卸売業)
- ・客単価が上がってきており順調に推移しているが、来店者数は10年前に比べ半減している。(贈答品販売)